

事業所名	グループホーム 神庭荘 ※
日付	平成19年11月6日
評価機関名	特定非営利活動法人 高齢者・障害者生活支援センター
評価調査員	介護支援専門員・介護福祉士 訪問介護員
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る（改善状況のコメントがあります！）※	

2. 評価結果（詳細）

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	理念 ・法人の代表者が常に職員の顔色や体調に気を配り、気になる職員には声かけを行うなど職員に対しての配慮を行うことにより、利用者がより快適に過ごせる環境づくりに努力されています。 ・自分の家族および将来職員が利用したいと思えるようなホームを目指している。 ・出会いを大切に、笑顔あふれるホームづくりを目指し、人と人の繋がりを大切にしながら家庭的な雰囲気の中で、その人らしく暮らせるグループホームを目指している。 ・認知症を理解し「や・い・ゆ・え・よ」の理念の実現に向けたケアを実践されています。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居居の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	・生活歴を把握し、その人を理解することによりできるだけ安心した生活が送れるように、また環境づくりや側に寄り添う事をこころがけた対応がなされています。 ・集団生活の中で個性を大切にしながら残存能力を活かした対応と、家族の様な雰囲気づくりに取り組んでいる。 ・笑顔で受け入れ笑顔を貰う介護を心掛けている。 ・毎日の買い物や散歩を行い、外気に触れる事で閉塞感の防止に努め、心の安定を図っている。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人ですることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して（特に良いと思われる点など）

- ・山間の静かな田園地帯で少し小高く景観のよい場所にグループホーム神庭荘はあり、日本の四季を感じることができる自然な環境にあります。
- ・のどかな景観と開放感のある共有のスペースは、入居者の憩いの場としてくつろぎの空間であり、手づくりの小物や外出時のスナップ写真等がコメントとともに飾られており、楽しさが伝わってきます。又 さまざまなイベント会場として家族との交流の場にも活用できています。
- ・玄関には木製のいすが用意され、靴の着脱も安心して行えるとともに、憩いの場としても活用されています。
- ・職員間のチームワークが良く取れており、ご利用者の方にグループホームでの生活が生きていてよかったと、思ってもらえることができるように、いつも「や・い・ゆ・え・よ」（やさしく・いたわり・ゆとりをもって・えがおで・よるこんで）をモットーに、その人らしい人生を送ることできるように、日々自己研鑽しながら前向きに業務に取り組み、入居者のプライバシーを大切にした自立支援と、自由を尊重した暮らしに努めターミナルケアに積極的に対応されています。
- ・隣接した同敷地内に同一法人の特別養護老人ホーム・居宅介護支援事業所・在宅介護支援センター・通所介護等併用施設があり、連携が密にでき福祉のノウハウも充実して柔軟な対応ができています。

特に改善の余地があると思われる点

特になし

III ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にしたい整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	・その人らしさを大切にしたい日常生活の（入浴・排泄・食事など残存機能に合わせた）自立支援と趣味が楽しめる場づくりや、生活習慣（食事の支度・洗濯・掃除など）を支援している。 ・個人情報に関しても利用者や家族の同意を得て共同生活の中でのプライバシーの保護にも努めている。 ・入室時においてもノックや声かけが行われています。 ・生活歴を把握し、できることをさりげなくしていただくなど経験の尊重に努めている光景が窺えました。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
	・定期的に内部研修を行っている。 ・勉強会や日々現場での介護技術の伝達・自己研鑽による職員間の質の向上に努めている。 ・地域との交流や玄関の鍵を開放に向けてさらなる努力を期待いたします。		